

（三浦義一）
 分縣生れ、（昭和四十六年四月十日歿）（一八六一—一九二一）。政治家。三浦義平の長男。大正九年早稲田大學中退。昭和七年大亞義塾、十年國策社を組織。益田孝糾弾、中高知々々平拍撃、（一・二六事件）不穩を會頭布等、小よの度々檢挙。戰後政財界の重要な存在。大日本愛國者團體會議最高顧問。

著書、歌集『實觀無常』（昭和十五年七月七日興亞文化協會）、歌論集『玉銚の道』（昭和十九年九月五日大東塾出版部）、遺稿『續悲天』（昭和四十八年四月十日三浦久子編輯）等。

